

第1回 日下川流域水害対策協議会

議事概要

令和6年12月25日（水）

11：00～12：00

日高村役場 3階大会議室

1. 議事概要

- 日下川流域水害対策協議会 規約（案）について、承認された。
- 日下川流域水害対策計画の基本的な考え方について、確認を行った。

2. 主な意見

○日高村 松岡村長

- ・特定都市河川の指定を受け、日高村では新たに具体的な土地利用の方針を明確化していくことで治水とまちづくりの両輪を一体的に取り組む流域治水まちづくりの計画を検討している。規制を強化することによってまちづくりへの影響が懸念されるため、単なるまちづくり計画とするのではなく、災害危険区域といった危険な場所や規制がかかる場所は治水的な観点からしっかりと誘導した上でまちづくり計画を示していく。
- ・特定都市河川指定後の規制内容については、必須となる雨水浸透阻害行為を日下川流域全体で規制し、日高村においては特定都市河川の法規制に加えて日高村水害に強いまちづくり条例の建物床高規制、貯留機能阻害行為の規制を継続して実施していく。
- ・貯留機能保全区域の指定についても今後は村内のできる箇所から指定の検討をしていきたいと考えている。本協議会において流域水害対策計画の中に取り込んでいけるようしっかりと議論させていただきたい。

○佐川町 片岡町長

- ・頻発化・激甚化する多くの大雨により、いつ氾濫が起こるかわからないという状況であり、佐川町においてもいくつも河川があるのでこういった計画を作って対応をしていくことは非常に大切なこと。

○土佐市 板原市長

- ・流域治水ないしは特定都市河川の活動については日高村が先行されており、私たちも共に同じ気持ちで取り組んでいきたい。

○沖名調整池を活かす会 会長

- ・水災害に強く住み続けられるまちづくりを目指すという大きな目標をしっかりと計画の中に作っていただきたい。
- ・村の方は住民の方にしっかりと必要性を伝えることによって住民の方の理解も得ていただきたい。
- ・仁淀川本川の水位が水害については大きく左右されると思うので、ぜひ本川の水位低下についてもお願いしたい。

○高知地方気象台長

- ・引き続き、気象情報の精度向上に取り組むとともに、これを適時適切に提供して皆様にご活用いただき、避難等の防災対応に繋がられるように取り組んで参りたい。

○中国四国農政局 農村振興部長

- ・「田んぼダム」の推進については、農林水産省では補助事業等による畦畔の補強や、多面的機能支払交付金で取組面積の概ね半分以上で取り組まれる場合の「田んぼダム」加算等の支援をしている。一方、「田んぼダム」の効果が発揮できるのは水稻を作付けしている水田になる。主食用米については需要が減るが、新規需要米や飼料米等を作付すれば「田んぼダム」の効果が発揮できるので、どのような作付けを行うのかは地域でご検討いただきたい。

○加茂地区地域振興策等推進会 会長

- ・日下川の上流側は今後開発が行われるようなエリアもあり、できるだけ障害にならないような開発行為をしたいとのことだが、地下浸透させるための工事費が負担になるため、行政の方で少しでもカバーできる形になれば、開発をスムーズに進めていく状況が得られるのではと考えているので、検討いただきたい。

○高知県 横地土木部長

- ・本日議論のあった計画を皆様と連携して策定していき、流域の治水安全度向上を図っていききたい。県としては、日下川の放水路より下流区間や支川長竹川の整備促進を図るとともに流域の更なる対策検討を進めていきたいと考えているので、関係の皆様のご協力をお願いする。

○四国地方整備局 豊口局長

- ・これから具体的な中身を詰めていくことになるが、大筋の合意が出来たことは非常に大きなことであり、ハード面だけではなくソフト面を考えると、避難や気象予測も非常に大事になってくるので皆様のご協力がいただけて本当にありがたい。次回は流域水害対策計画の素案が示せるように我々もしっかりと検討していきたいと考えている。

—以上—